

平成28年

# 入学試験を施行

## 日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼 中原 泉  
編集人  
発行日 偶数月末日  
定価 1部10円  
編集室 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク



## 両学部部の合格者発表 東京短大、新潟短大の入学試験も

平成二十八年度の日本歯科大学入学試験は、一月中旬のセンター試験と二月初旬の本学試験をもって東京で施行し、両学部部の合格者を発表した。本年も同一試験日に生命歯学部と新潟生命歯学部との受験と併願が可能となる「全学部入試」を実施した。あわせて、東京短期大学と新潟短期大学の入学試験が行われた。

### NDU Open Campus 2016

- 【生命歯学部】 午後の部は14:00受付 (②③④)
- ① 7月20日(水)：午前9:45受付 学内見学  
午後14:00受付 多摩クリニック見学
  - ② 8月4日(木)：午前9:45受付 入試対策セミナー
  - ③ 8月18日(木)：午前9:45受付 入試対策セミナー
  - ④ 9月10日(土)：午前9:45受付 模擬授業
  - ⑤ 10月9日(日)：午前10:45受付 (附属病院牛込ホール)  
11:00~13:00病院見学 (完全予約制)
  - ⑥ 10月29日(土)：学園祭共催 午前9:45受付
  - ⑦ 10月30日(日)：学園祭共催 午前9:45受付 (午前のみ)
- 【新潟生命歯学部】
- ① 6月11日(土)：学園祭共催
  - ② 6月26日(日)
  - ③ 7月9日(土)、④ 7月27日(水)、⑤ 8月9日(火)、⑥ 8月19日(金)
- 各回とも10:30受付 11:20~16:00

平成二十八年度の入学試験は例年のように、大入試センター利用入学試験と、本学で実施する一般選抜試験の二本立てで行われた。

本学では本年も、同一試験日に両学部部の受験と併願可能な「全学部入試」を一般選抜とセンター利用入試で実施した。

一般選抜入学試験の前期試験は、生命歯学部(東京)において英語一科目、国語・数学のうちから一科目、理科(物理・化学・生物のうちから選択)一科目、計三科目の学力試験、ならびに面接試験を二月一日に実施し、四日に合格者を発表した。

センター利用前期入学試験は、本学が指定した科目(二十七年次から外国語は英語が必須)の受験者に対して、二月五日開始の合図を待つ受験生たち

### 校友会が10月に記念事業

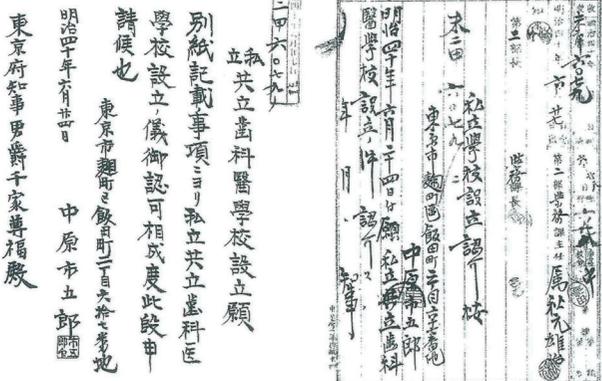
本校は、一九〇七年(明治四十)に、公立私立歯科医学学校指定規則に基づく初めての歯科医学学校として設立された。

学校法人日本歯科大学では、六月一日に例年通り創立記念式典を挙行する。

本年二〇一六年は創立一〇九年周年を迎え、また創立者中原市五郎先生の生誕一五〇年にあたることから、日本歯科大学校友会では、十月二十二日(土)に東京・千代田区の帝国ホテルにおいて記念式典と記念祝賀会を開催する。

なお、本学創立者の自主独立の建学精神に則り、校友会と歯学会では「中原市五郎賞」を創設し、十月の記念式典で授賞式を行う。

## 日本歯科大学創立110周年 中原市五郎先生生誕150周年



(上写真) 創立者中原市五郎先生  
(下書面) 本学の前身共立歯科医学学校設立願

### 卒 高橋先生・日歯連盟会長 66回 丸山先生・日学歯会長に

高橋英登先生(東京都)は、昨年七月に日本歯科医師連盟の会長に就任したが、十一月に開催された臨時評議員会で会長として信任された。

また丸山進一郎先生(東京都)は、本年二月に行われた日本歯科歯科医会長の予備選挙において、代表会員による郵便投票総数二〇票のうち、七十八票を得て、新会長に内定した。

丸山先生は、全国小児歯科開業医会会長を務める小児歯科専門医で、学校歯科医を三十年以上続け、日学歯の常務理事・専務理事などの要職を歴任している。





# 新たな歯科医療のカタチ

## 歯髄細胞バンク認定医講習会



本学では昨年七月から十二月まで、受講者を校友会会員に限定した「歯髄細胞バンク認定医講習会」を生命歯学部において開催した。

既報のように、患者の歯髄細胞を保管して将来の病気やケガを自分自身の細胞によって治療するため、そのベース基地として、本学では昨年四月に歯髄細胞バンクを設立した。これはさまざまな細胞に分化できる能力を有する歯髄細胞を、再生医療に活用するための新しい事業である。また、平成二十五年に公布された「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が発行する「歯髄細胞バンクの概要」を説明する中、

「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が発行する「歯髄細胞バンクの概要」を説明する中、

「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が発行する「歯髄細胞バンクの概要」を説明する中、

「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が発行する「歯髄細胞バンクの概要」を説明する中、

「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が発行する「歯髄細胞バンクの概要」を説明する中、

「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が発行する「歯髄細胞バンクの概要」を説明する中、



「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「日本歯科大学」が発行する「歯髄細胞バンクの概要」を説明する中、

**勝海教授(東京)**  
**日本歯科大学会長賞受賞**

生命歯学部歯科保存学講座の勝海一郎教授は、二月二十四日に開催された第九十四回日本歯科医学会評議員会で、平成二十七年年度会長賞を受賞した。

勝海教授は昭和四十九年本学卒業(第六十三回)

**新潟の関本、五十嵐教授**  
**歯科医学会分科会の理事長に**

新潟生命歯学部小児歯科学講座の関本恒夫教授は、分科会の日本歯科医学教

育学会の理事長に選出された。関本教授は六十四回卒業で、新潟生命歯学部

また、歯科医学会認定分科会の一社団法人日本歯内療法学会理事長に五十嵐勝教授が選出された。五十嵐教授は六十九回卒業。

### 平成28年度 歯学会大会のご案内

平成28年度日本歯科大学歯学会総会・大会を以下の通り開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日時：平成28年(2016)6月4日(土) 11:00~17:00 (予定)
- 会場：生命歯学部 8階富士見ホール 1階メモリアルホール
- ◎メインテーマ

#### 『近未来、歯科はこう変わる？ -10年後の歯科臨床を予測する！-』

- ◎公開シンポジウム
- ◆基調講演 「目の前に来た再生医療 歯髄-象牙質再生医療の衝撃！歯の寿命はあと20年延ばせる！」(仮題) 中島 美砂子 (国立長寿医療センター研究所)
- ◆リレー講演
  1. 「2025年を見据えた歯科保健医療サービスの展望 -超高齢化、少子化の影響はどこまで及ぶのか?-」
  2. 「歯周病・再生医療、10年後の臨床を予測する」(仮題)
  3. 「補綴・インプラント療法、10年後の臨床を予測する」(仮題)

●社会情勢の変化、技術の革新は日々スピードを上げ、以前には予想されなかった状況が、歯科の世界にも起きています。日本歯科大学創立110周年の今年、歯学会大会では、これからの歯科医療を大胆に予測してみようと、公開シンポジウムを企画しました。多くの方々のご参加とご討議をお待ちしています。

大会長 岡田 智雄 (附属病院総合診療科2)

◎お問合せ 準備委員長 石田 鉄光 (附属病院総合診療科4) TEL 03(3261)4751

死、徳川慶喜が大政奉還、坂本龍馬が暗殺される幕末最後の動乱の年。▼ところで、文筆家の坪内祐三氏に『慶応三年生』という著作がある。坪内氏は膨大な資料を駆使して、

靖国神社の歴史を描いた名著『靖国』でも有名だ。▼坪内氏は慶応三年生まれの七人男、夏目漱石、の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十

東京の口腔リハビリテーション多摩クリニックには、電車やバス、タクシーなどを使っていたが、この往診車の導入で、より効率よく広範囲の活動が可能となった。往診車は八人乗りのワンボックスカーなので、臨床実習生や研修歯科医を同乗させて、訪問診療の実地研修にも利用できる。

東京の口腔リハビリテーション多摩クリニック(菊谷院長)では、本年二月から往診用車両を配置することになった。今までの訪問診療には、電車やバス、タクシーなどを使っていたが、この往診車の導入で、より効率よく広範囲の活動が可能となった。往診車は八人乗りのワンボックスカーなので、臨床実習生や研修歯科医を同乗させて、訪問診療の実地研修にも利用できる。

東京の口腔リハビリテーション多摩クリニック(菊谷院長)では、本年二月から往診用車両を配置することになった。今までの訪問診療には、電車やバス、タクシーなどを使っていたが、この往診車の導入で、より効率よく広範囲の活動が可能となった。往診車は八人乗りのワンボックスカーなので、臨床実習生や研修歯科医を同乗させて、訪問診療の実地研修にも利用できる。

同じく慶応三年生の中原市五郎先生は、そのころは、大英博物館の蔵書を教科書に独学した博覧強記の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十

同じく慶応三年生の中原市五郎先生は、そのころは、大英博物館の蔵書を教科書に独学した博覧強記の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十

同じく慶応三年生の中原市五郎先生は、そのころは、大英博物館の蔵書を教科書に独学した博覧強記の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十

同じく慶応三年生の中原市五郎先生は、そのころは、大英博物館の蔵書を教科書に独学した博覧強記の粘菌学者である。▼著作は、世俗の名利を求めなかった「ツムジ曲がり」七人男たち、明治二十

### 東京 多摩クリニックに往診車



往診車を前に、左から三代附属病院長、菊谷多摩クリニック院長、中原貴法人理事、羽村生命歯学部長、沼部法人理事

東京の口腔リハビリテーション多摩クリニック(菊谷院長)では、本年二月から往診用車両を配置することになった。今までの訪問診療には、電車やバス、タクシーなどを使っていたが、この往診車の導入で、より効率よく広範囲の活動が可能となった。往診車は八人乗りのワンボックスカーなので、臨床実習生や研修歯科医を同乗させて、訪問診療の実地研修にも利用できる。

**慶応三年の生まれ七人の旋毛曲り**

坪内祐三 (Yuzo Iwano) 新潮文庫

「加齢とともに、歯の寿命はあと20年延ばせる！」

「超高齢化、少子化の影響はどこまで及ぶのか？」

「歯周病・再生医療、10年後の臨床を予測する」

「補綴・インプラント療法、10年後の臨床を予測する」